

第1回学校評議員会からの意見～実践に向けて

意見	改善・取組	関係学部・分掌部
<p>○自ら考えて行動するということを教えていくのはとても難しいと思うが、先生方が色々と工夫されている。子どもたちがすぐに変わることはなくても、取り組みを続けていってほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員への周知 	<p>全</p>
<p>○大切なことは、考える場の設定。百聞は一見に如かず。まず、実際に自分でやってみる。そして、できたという成功体験。この積み重ねにより、「できた」という喜びが自ら考えて行動する力につながっていく。先生方も、「子どもを見る力」をつけること。それが、子どもの成長につながっていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員への周知 	<p>全</p>
<p>○一緒に楽しむことが、子どもたちの学ぶ意欲につながると思う。コミュニケーションが苦手な子どもたちがつまづくのは、休み時間。自己選択できることが大切。</p> <p>○今後は障害者雇用率の上昇も考えられ障害者雇用も増加していく中、なかなか人間関係が構築できない。そのことが離職の原因にもなっている。先程の話にもあったように、休み時間の過ごし方などを学校でも指導していたのであれば、今後の社会生活、職業生活のもつながっていくのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前籍校等からの情報収集し余暇時間の過ごし方に生かす。 ・切り替えの場面がスムーズにいくためにタイマーや場所などの工夫をする。 ・「好きな活動」のバリエーションを増やす工夫や関わり方の指導を学校生活全般の中で取り組む。 	<p>学部 特別活動部 児童生徒指導部</p>
<p>○目指すところがあり、楽しみがあれば、子どもたちは自分で考えていく。その種をたくさん蒔いていく。どんな芽が出てくるか。どういう風に育っていくか。楽しいからこそ、考える意欲につながる。成功体験、楽しかった経験が大切。</p> <p>○目標や目的がないと、自分から考えられない。子どもたちの実態によって、目標や目的は変わってくる。普段の子どもたちの観察や実態把握が大切。普段の接し方が大切。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員への周知 	<p>全</p>
<p>○（IT化の流れに対して）命を大切にしながら、社会に携わっていく、そういう意識を持てるといい。世の中の流れは速く、AI、コロナなど振り回されてしまうが、基本に返って。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル情報との関わり方や人権意識など意図的に学習計画に盛り込む。 	<p>学部 学習指導部</p>